

Hyper Wind



ハイパーウィンド仙台
第6回公演「 Coppélia 」全3幕

COPPELIA

～おすまし屋の人形をめぐる愉快的な愛の物語～

with 仙台フィルハーモニー管弦楽団

演出・振付

石井清子 (東京シティ・バレエ団)

再振付

黄凱 [ホワンカイ] (東京シティ・バレエ団)

指揮

末廣誠

演奏

仙台フィルハーモニー管弦楽団

バレエミストレス

宇野澤寛子 (東京シティ・バレエ団)



2019年5月5日(日)

開演/14:30 (開場 14:00)

場所/仙台銀行ホール イズミティ21 大ホール

入場料/前売り S:6,000円 A:5,500円

当日 S:6,500円 A:6,000円

※4歳未満のお子様のお入場はご遠慮下さい。

チケット取り扱い

ハイパーウィンド仙台ホームページ、
またはプレイガイド仙台三越、藤崎よりお求めいただけます。

クラウドファンディング 2/14スタート!

皆様の温かいご支援心よりお待ちしております。

<https://readyfor.jp/projects/hyper-wind2019>



●主催/ハイパーウィンド仙台 (公財)仙台フィルハーモニー管弦楽団 ●助成/(公財)仙台市市民文化事業団
●後援/(公財)宮城県文化振興財団 仙台市教育委員会 河北新報社 仙台放送 ミヤギテレビ KHB東日本放送 TBC東北放送 エフエム仙台

◇お問い合わせ◇

Hyper Wind

ハイパーウィンド仙台事務局

【TEL】 090-6629-8184 【MAIL】 info@hyper-wind.com

【URL】 <http://www.hyper-wind.com/>



Message メッセージ

ハイパーウィンド仙台は2002年よりメイドイン仙台で質の高いバレエ公演を企画し、これまで5回の公演と多くのダンスワークショップやステージを開催して来ました。生演奏の音楽と質の高い内容にこだわり継続して来た事で、たくさんの皆様にも毎回好評をいただいております。今回の公演は、これまで以上に仙台フィルハーモニー管弦楽団さん及び、東京シティ・バレエ団さんの多大なご協力を得て実現しました。

人形に恋したフランツと恋人スワニルダの三角関係を明るくコメディで描くバレエ「コッペリア」。色彩豊かで華やかな音楽と共に繰り広げられる楽しいバレエの世界。ハイパーウィンド仙台によって作品にどんな新しい生命が吹き込まれるのか、どうぞお楽しみに！

Cast 出演者

[スワニルダ] 満井ほのか [フランツ] 中弥智博(東京シティ・バレエ団) [コッペリア] 春野雅彦(東京シティ・バレエ団)

池田 茜 伊藤桜子 大久保愛結 大友菜々 大久凜花 小川内桜 尾崎花帆 長田佑紀子 川又桜々 北住心菜 熊谷いろは
栗原菜埜 栗和田朋与 駒井芽生 今野愛那 佐藤心美 佐藤万見 佐藤萌子 佐藤里歩 佐藤玲華 鈴木菜丘 妹尾寧々
高橋美絵子 高橋優香 角田桜歌 成澤夏乃 早坂すみれ 春原真理 福田寧珠 豆野沙英 谷地田那月 吉崎ひなの
善積真由子 我妻美香 渡辺ゆな

宇野澤寛子(東京シティ・バレエ団) 櫻井由美(マイダンスショップ)

[ゲストダンサー] 沖田貴士・吉留 諒・濱本泰然(以上 東京シティ・バレエ団) 三品英士(パフォーマー)



メッセージ

ハイパーウィンド、初のコッペリア全幕、この度再振付、演出を担当するという貴重な機会を頂きました。私自身、長年踊ってきた思い入れのある作品であり、今回再振付をするにあたり、様々な角度から作品に触れ、東京シティバレエ団で幾度となく踊られてきた作品の緻密さを改めて感じる事が出来ました。マイムが多く、表現力が重要となる作品。振付・石井清子先生から受け継いだエッセンスとともに、ハイパーウィンドの皆と力を合わせて創り上げてまいります。オーケストラでの贅沢な舞台、コッペリアの世界を思い切り心から楽しんで頂ける事を願っています。是非たくさんの方にご覧頂きたいと思います。

黄 凱

ホワン カイ

プロフィール

上海市舞蹈学校卒業後、上海バレエ団ファーストソリストとして活躍。1998年文化庁海外芸術家招聘研修生として東京シティ・バレエ団にて研修し、翌年入団以降、東京シティ・バレエ団の主なレパートリーに主演。

2003年文化庁国際芸術交流支援事業東京シティ・バレエ団中国公演『コッペリア』(上海・寧波)主演。2011年『Ballet Helps Japan』(ベルリン)、2012年『World Ballet Stars Gala in Kazakhstan』主演。2003年から、すべてのハイパーウィンド仙台の公演にゲストダンサーとして主演。



プロフィール

桐朋学園大学修了。1989年、N.リムスキー＝コルサコフのオペラ『サルタン王の物語』の日本初演において訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後オペラを数多く手がけ、豊富なレパートリーを誇っており、バレエでも多くの作品に参加しており、舞台作品における技量は各界から厚い信頼を得ている。1990年ハンガリーにおいてサボルチ交響楽団を指揮。同年、ワイマールで開催された国際セミナーでエーナー・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、チューリンガー・アルゲマイネ紙に“真にプロフェッショナルな指揮者”と称賛される。1991年、第4回フィッテルベルク国際コンクールにおいて第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞する。翌年よりポーランド国立放送交響楽団をはじめとする各地のオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の首席客演指揮者に就任。また、国立シレジア歌劇場においてヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、定期客演指揮者として多くの作品を指揮している。帰国後は群馬交響楽団を経て1995年から1999年まで札幌交響楽団指揮者を務め、多岐にわたる活動を続けている。2016年には、ウィーン楽友協会合唱団のモーツァルト「レクイエム」を指揮し大好評を得た。高いレベルの演奏を引き出す手腕には定評があり、今後の活躍が期待されている。また、執筆活動のほか演奏会の司会や企画にもその才能は遺憾なく発揮されている。レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか？」を刊行。

末廣 誠

すえひろ まこと



ハイパーウィンド仙台

プロフィール

2002年より仙台で質の高いバレエの創造、公演活動を行っている非営利目的の団体。これまで「くるみ割り人形」(全幕)、「白鳥の湖」(全幕)など5回の主催公演(第2回公演以降仙台フィルハーモニー管弦楽団演奏)を上演。さらに仙台フィルハーモニー管弦楽団主催の「オルケストラ・エ・バレエ」公演に2回共演した。出演ダンサーは公募によりオーディションで決定し、一流の演出家と在仙スタッフによる公演を定期的に行っている。

バレエを愛し学ぶ若いダンサー達の夢と希望に応えるべく、幕物のバレエに関わる機会の奥深さを味わえる場を継続的に作り続けている。

仙台フィルハーモニー管弦楽団

プロフィール

仙台フィルは、1973年に市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。翌年に初の定期演奏会を開催して本格的に活動を開始した。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。

2018年度に飯守泰次郎が常任指揮者に就任、ドイツ音楽を中心としたレパートリーによりさらに音楽的深化を推し進めている。

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行い、2011年度エクソソモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞した。

本拠地、日立システムズホール仙台コンサートホールでの「定期演奏会」は2016年に300回を数え意欲的な取り組みが高く評価されているほか、2001年から開催されている仙台国際音楽コンクールではホストオーケストラとして出演し、2006年秋からは、毎年「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。

運営委員 峯岡比呂美 斎藤和美 櫻井由美 長谷川静香 佐藤浩美 アーティスティックアドバイザー 小尻健太